



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

— センターを訪問してもよろしいでしょうか!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

### ■センターの電話がルンルンと鳴りました…

「うつくしま地球温暖化防止活動推進員の渡邊です。お伺いしたいことがあるので、福島県地球温暖化防止活動推進センターを訪問してもよろしいでしょうか？」電話をかけてきたのは、新しく推進員になった渡邊正行さんです。郡山市内で電化製品や自動車、カメラなどの精密部品を製造する会社を経営しています。「昭和24年生まれです。会社の方は欲を出さず、これからは地球温暖化防止の活動に力を入れたいのです。」

### ■きっかけは…

地球温暖化について関心を持つきっかけは、環境省中央環境審議会会長代理も務めたことがある東京大学名誉教授の山本良一さんの講演を聞いたことだと思います。「講演の中で、地球に残された時間は少ないといった趣旨のことをお話になりました。」「センターのことは『街の灯こおりやま』を読んで知っていました。

自分にできることを見つけ、身の回りのことから地球温暖化防止活動をしたいと考えています。」

### ■センターの紹介

来所した渡邊さんに、センターは福島県から指定を受け運営していること、県民や学校、事業者からの相談の窓口になっていること、書籍や啓発用のパネル、エコカルタの貸し出しをしていることなどを説明しました。二酸化炭素測定器もあります。「誰でも利用できますのですか?」「はい、誰でも利用できます。電話番号は024-944-0083です。メールアドレスは [uketsume@fukushima-ondankaboushi.org](mailto:uketsume@fukushima-ondankaboushi.org) です。」

### ■みんなのできる地球温暖化防止活動

「地球温暖化対策の推進に関する法律の資料はございますか?」「はい、プリントアウトしてあります。」と、資料をお渡しました。「出前講座の講師ができるようになりたいのですが、まだ勉強が足りません。」と謙遜されます。「福島県が作成したふくしま2050年カーボンニュートラル宣言!実現のためのロードマップというリーフレットを、職場や取引先へ渡すことも活動になりますよね。」「はい、立派な活動です。」専門的な知識も必要なので学び合いながら、まず身近な所から取り組むことの大切さを再確認しました。

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>